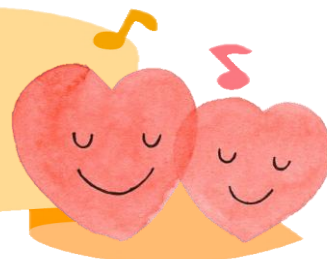


1・2年生 いのちの教育

『からだはたからばこ・プライベートゾーン』について学習しました



令和7年6月26日 白川郷学園 保健室

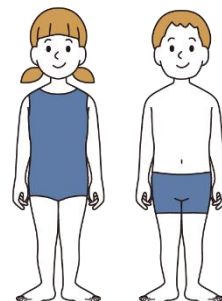
6月23日(月) 1・2年生合同で、いのちの教育を行いました。テーマは、『からだはたからばこ・プライベートゾーン』についてです。宝箱の中から体のイラスト(手・足・口・目・おちんちん・おしり)を取り出し、自分の体の場所を指さし、どこにあるかを確認しました。その後、どんな働きがあるのか尋ねると、「物をつかむ・歩くことができる・話すことができる・おしっこやうんちをする」など、全てが大切な体の働きである、「たからもの」であることを確認しました。



◆プライベートゾーンとは

体のうち、性に関わる大切な場所。
下着や水着で守っている場所。
具体的には、口・胸・おしり・性器。

自分だけの大切な場所なので、他人が勝手に見たり、触ったりしてはいけない場所。



養護教諭からは、「たからもの」を大切に出来ていない3人のイラストを例にあげ、どこを大切にできていないのかを確認しました。その中で、「心もきずついてるよ。」とお話してくれた児童がいました。外見では見えない心にも目を向けられる皆さんがとても素敵だと感じられました。

そして今回も思春期保健相談士である、吉山千帆さんに来ていただき、プライベートゾーンのお風呂での洗い方やトイレでの拭き方について教えていただきました。「ゼリーやプリンを触るように優しく扱うよ。」「泡もしっかり洗い流すよ。」など、男女によっても洗い方と拭き方に違いがあることもおさえていただきました。

今後も学校で繰り返し指導していきますが、この授業をきっかけに、ぜひご家庭で性に関することについて話題にしていただけましたら嬉しいです。



～保護者の皆様へ～

性に関することは、「教えなくてもそのうち覚えるから教えなくていい。」という声を耳にすることもあります。しかし、今の時代、子ども達はどこから情報を得るか分かりません。ネット上には誤った情報もたくさんあります。正しい知識がないせいで、性犯罪などの事件に巻き込まれる可能性もあるかもしれません。よく学校では、「自分の命は自分で守る」と教えます。しかし、守り方を知らなければ意味がありません。学園では、学校と家庭が協力して正しい情報を伝えていく中で、正しい知識やスキルを身に付けてほしいと願っています。